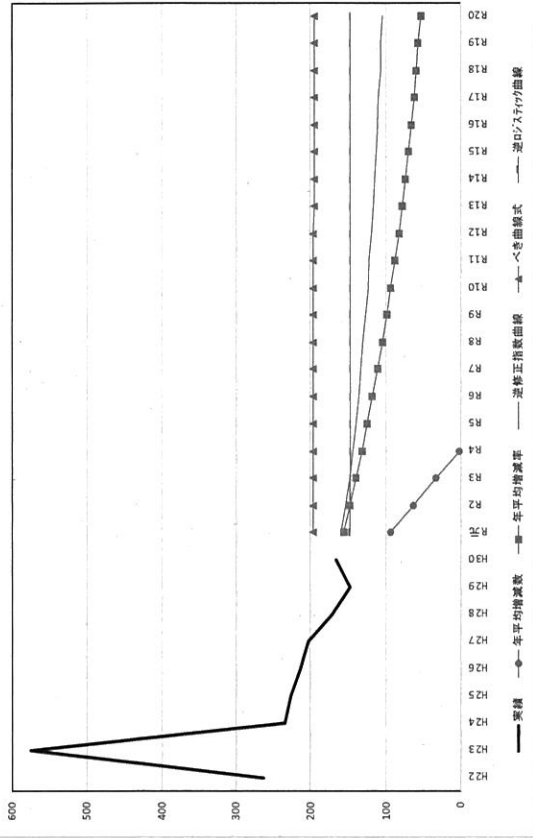


鹿町地区(工場用水：9年)

(1) 年平均増減率	(2) 年平均増減率	(3) 逆修正指数曲線	(4) ベキ曲線式	(5) 逆修正指数曲線
$Y = ax + b$ $a = -30.26667$ $b = 395.88889$ $V = 8643.32840$ $SD = 92.96950$ $R = 0.64345$	$Y = y_0(1+r)^x$ $r = -0.05697729$ $y_0 = 166$ $V = 11004.46357$ $SD = 109.10767$ $R = 0.64902$	$Y = K + ab \cdot x$ $a = -363.83670$ $b = 0.71529$ $K = 131.79289$ $V = 9156.62581$ $SD = 95.89385$ $R = 0.61983$	$Y = Ax^a$ $a = -0.39120$ $A = 392.31959$ $V = 10396.26258$ $SD = 101.96216$ $R = 0.55110$	$Y = c \cdot (1 + (1 - c) \cdot x)$ $a = 2.52214$ $b = 0.79901$ $K = 147$ $C = 575$ $V = 18606.70221$ $SD = 136.31106$ $R = 0.68493$

鹿町地区(工場用水)



※逆修正指数曲線のK値は相関係数が最大になる値、C値は最大値を設定

年度	実績		実績/推計値		実績/推計値		実績/推計値			
	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y		
H22	1	263	0	263	1	436	1	392	1	510
H23	2	574	1	248	1	349	2	299	2	453
H24	3	235	2	234	2	287	3	255	3	374
H25	4	227	3	275	3	221	4	228	4	292
H26	5	213	4	245	4	209	5	209	5	227
H27	6	203	5	214	5	197	6	195	6	187
H28	7	172	6	184	6	186	7	172	7	166
H29	8	148	7	154	7	176	8	174	8	156
H30	9	166	8	123	8	166	9	166	9	151

年度	実績		実績/推計値		実績/推計値		実績/推計値		
	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	
R10	93	1	157	10	159	10	197	10	149
R11	63	2	148	11	154	11	197	11	148
R12	33	3	140	12	148	12	197	12	147
R13	2	4	132	13	144	13	197	13	147
R14	-28	5	125	14	140	14	196	14	147
R15	-58	6	118	15	136	15	196	15	147
R16	-88	7	111	16	133	16	196	16	147
R17	-119	8	105	17	130	17	196	17	147
R18	-149	9	99	18	127	18	196	18	147
R19	-179	10	93	19	124	19	196	19	147
R20	-209	11	88	20	122	20	196	20	147
R21	-240	12	83	21	119	21	196	21	147
R22	-270	13	79	22	117	22	195	22	147
R23	-300	14	74	23	115	23	195	23	147
R24	-331	15	70	24	113	24	195	24	147
R25	-361	16	66	25	111	25	195	25	147
R26	-391	17	62	26	110	26	195	26	147
R27	-421	18	59	27	108	27	195	27	147
R28	-452	19	56	28	107	28	195	28	147
R29	-482	20	53	29	105	29	195	29	147

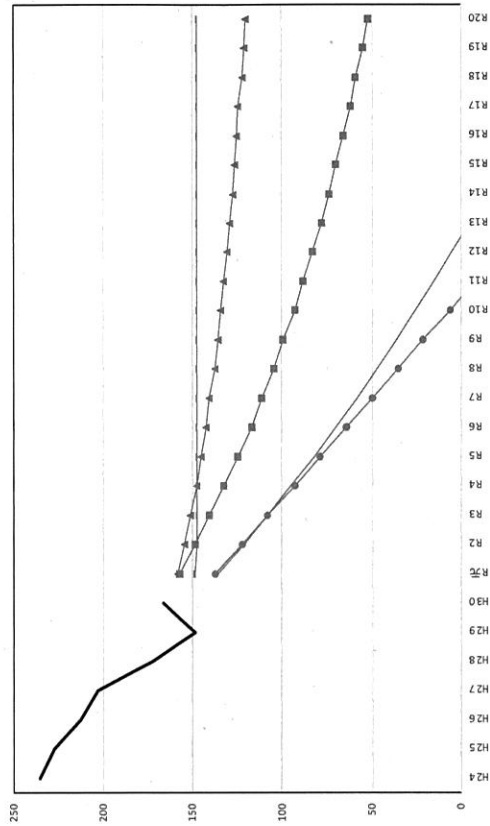
鹿町地区(工場用水:7年)

(1) 年平均増減率	(2) 年平均増減率	(3) 逆修正指数曲線	(4) べき曲線式	(5) 逆ロジスティック曲線
$Y = aX + b$ $a = -14.50000$ $b = 252.85714$ $V = 1.0851E-05$ $SD = 10.02751$ $R = 0.94510$	$Y = y_0 e^{k(1+t)}$ $f = -0.06286783$ $y_0 = 166$ $V = 150.976596$ $SD = 12.29725$ $R = 0.94508$	$Y = K + ab \cdot x$ $a = -536.53005$ $b = 0.96874$ $K = -308.12500$ $V = 2032.64439$ $SD = 44.86161$ $R = 0.92818$	$Y = A \cdot X^a$ $a = -0.22580$ $A = 253.28032$ $V = 208.71761$ $SD = 14.44707$ $R = 0.88507$	$Y = C / (1 + e^{-kx})$ $a = 4.88377$ $b = 1.16652$ $C = 147$ $K = 236$ $V = 1208.79732$ $SD = 34.76776$ $R = 0.97267$

年度	実績値	実績/推計値	実績/推計値	実績/推計値	実績/推計値
H24	235	1	235	1	234
H25	221	2	222	2	230
H26	213	3	209	1	212
H27	203	4	195	3	198
H28	172	5	180	4	186
H29	148	6	166	5	176
H30	166	7	151	6	163

推計	推計年数	実績値	推計値	実績/推計値	実績値	推計値	実績/推計値
R20	1	137	157	6	135	8	148
R21	2	122	148	7	121	9	147
R22	3	108	140	8	108	10	147
R23	4	93	132	9	95	11	147
R24	5	79	124	10	82	12	147
R25	6	64	117	11	70	13	147
R26	7	50	111	12	58	14	147
R27	8	35	104	13	47	15	147
R28	9	21	99	14	36	16	147
R29	10	6	93	15	25	17	147
R30	11	-8	88	16	15	18	147
R31	12	-23	83	17	5	19	147
R32	13	-37	78	18	-5	20	147
R33	14	-52	74	19	-15	21	147
R34	15	-66	70	20	-24	22	147
R35	16	-81	66	21	-33	23	147
R36	17	-95	62	22	-41	24	147
R37	18	-110	59	23	-50	25	147
R38	19	-124	55	24	-58	26	147
R39	20	-139	52	25	-66	27	147

鹿町地区(工場用水)



※逆ロジスティック曲線のK値は相関係数が最大になる値、C値は最大値を設定

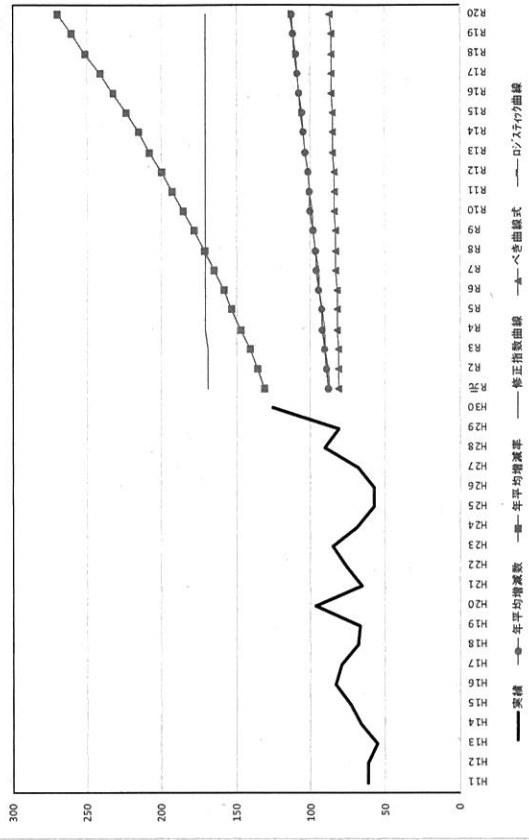
佐世保地区 (その他用水)

(1) 年平均増減数	$Y = aX + b$ a = 1.30902 b = 60.50526 r = 0.0891568 y = 126 V = 211.51229 S.D. = 14.54346 R = 0.468066
(2) 年平均増減率	$Y = y_0(1+r)^x$ r = 0.0891568 y = 126 V = 589.94832 S.D. = 24.28885 R = 0.47732
(3) 修正指数曲線	$Y = K - a \cdot b^x$ a = 34.24910 b = 0.84343 K = 170.50000 V = 183.18128 S.D. = 84.75365 R = 0.33214
(4) ベキ曲線式	$Y = A \cdot X^a$ a = 0.11068 A = 57.51220 V = 220.34490 S.D. = 14.84402 R = 0.43525
(5) 0.7 べき関数曲線	$Y = K(1 - e^{-aX})$ a = 0.11068 b = 0.02368 K = 250 V = 52.65282 S.D. = 7.25621 R = 0.46412

年度	実績データ	実績/推計値	実績/推計値	実績/推計値	実績/推計値					
	x	y	x	y	x	y				
H11	1	62	0	61	1	58	1	62		
H12	2	63	1	63	0	136	2	62	2	63
H13	3	64	2	66	1	142	3	65	3	65
H14	4	66	3	68	2	146	4	67	4	66
H15	5	67	4	71	3	150	5	69	5	67
H16	6	68	5	74	4	153	6	70	6	68
H17	7	70	6	77	5	156	7	71	7	69
H18	8	71	7	80	6	158	8	72	8	70
H19	9	72	8	83	7	160	9	73	9	72
H20	10	74	9	86	8	162	10	74	10	73
H21	11	75	10	89	9	163	11	75	11	74
H22	12	76	11	93	10	164	12	76	12	75
H23	13	78	12	96	11	165	13	76	13	77
H24	14	79	13	100	12	166	14	77	14	78
H25	15	80	14	104	13	167	15	78	15	79
H26	16	81	15	108	14	167	16	78	16	80
H27	17	83	16	112	15	168	17	79	17	82
H28	18	84	17	117	16	168	18	79	18	83
H29	19	85	18	121	17	169	19	80	19	84
H30	20	87	19	126	18	169	20	80	20	86

推計	推計年数	x	推計値	x	推計値	x	推計値	x	推計値	
R21	1	88	1	131	18	169	21	81	21	87
R22	2	89	2	136	19	169	22	81	22	88
R23	3	91	3	141	20	169	23	81	23	90
R24	4	92	4	147	21	170	24	82	24	91
R25	5	93	5	153	22	170	25	82	25	92
R26	6	95	6	158	23	170	26	82	26	94
R27	7	97	7	165	24	170	27	83	27	95
R28	8	97	8	171	25	170	28	83	28	97
R29	9	98	9	178	26	170	29	83	29	98
R30	10	100	10	185	27	170	30	84	30	99
R31	11	101	11	192	28	170	31	84	31	101
R32	12	102	12	199	29	170	32	84	32	102
R33	13	104	13	207	30	170	33	85	33	104
R34	14	105	14	215	31	170	34	85	34	105
R35	15	106	15	223	32	170	35	85	35	107
R36	16	108	16	232	33	170	36	86	36	108
R37	17	109	17	241	34	170	37	86	37	109
R38	18	110	18	251	35	170	38	86	38	111
R39	19	112	19	260	36	170	39	86	39	112
R40	20	113	20	270	37	170	40	87	40	114

佐世保地区 (その他用水)



※ロジスティック曲線のK値は実績値の倍を設定 (K値が高いほど相関係数が高い)

(6) 照会回答

1) 業務営業用水

i) 既存需要

- ・ハウステンボス株式会社
- ・九州防衛局

ii) 潜在的な需要

- ・JR九州ハウステンボスホテル株式会社
- ・社会福祉法人長崎博愛会
- ・株式会社ローレイ
- ・株式会社イレブン
- ・独立行政法人労働者健康福祉機構長崎労災病院
- ・社会福祉法人三省会
- ・佐世保共済病院
- ・佐世保拘置所
- ・鹿町福祉村

iii) 新規需要

- ・俵ヶ浦半島公園

2) 工場用水

i) 既存需要

- ・佐世保重工業株式会社

ii) 潜在的な需要

- ・信越石英株式会社
- ・株式会社シーヴィテック九州

iii) 新規需要

- ・佐世保相浦工業団地
- ・水産加工団地

3) その他用水

i) 新規需要

- ・岸壁給水

4) 代替案

ハウステンボス株式会社 御中

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本



水需要の将来見通しにかかる調査について（依頼）

晩秋の候、貴社におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。また、昨年度も、水事情が厳しい折には節水対策にご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

水道は、あらゆる都市活動を支える基礎的社会基盤であります。本市では、従前から慢性的に水源が不足しており、度々、給水制限や節水対策等の渇水対策を余儀なくされていることから、水道の安定供給確保を市政の最重要課題とし、石木ダム建設をはじめとする諸事業を進めているところです。

これらの事業は、将来の水の需給状況について見通しを立てたうえで、事故・災害等の非常時や水道使用のピークが重なったときにでも確実に供給することを前提とした水需給計画に基づいて行っております。

この水需給計画は、適宜、社会経済情勢等の変化に適合させる必要があります。今年度、計画の見直し作業を行うことを予定しております。見直しにあたりましては、将来の需給に過不足を生まないように、主要な水道需要者に対しまして水道使用の見通しに関するご意向を確認させていただいております。

つきましては、本市では現在のところ下記の形で計画に反映させることを考えておりますが、貴社の水道使用の実態や今後の見通しに適合しているか等について、ご教示くださいますようお願いいたします。

なお、業務ご多忙の中、誠に勝手ではございますが、令和元年12月6日にご回答くださいますようお願い申し上げます。

記

・平成24年度以降の水道使用の実績値の最大値から、令和20年度の一日平均使用水量を535 m³/日と推計しています。（平成30年度実績：535 m³/日）

※一日平均使用水量は、年間の使用水量を365日で除した数字です。

・直近3ヶ年の日々の水使用実績に基づき、令和20年度の一日最大使用水量を2,708 m³/日と推計しています。（平成30年度実績2,549 m³/日）

※一日最大使用水量は、天候や曜日、イベント等によって生じる水道使用のピーク時の数字で、水道施設整備計画の基礎となる数字です。

・貴社が開発されている地下水源（施設能力1,380 m³/日）について、水質汚染や揚水量低下等の非常時に備えた潜在的需として見込むことを考えています。

※地下水が使用できなくなった場合に水道使用に転換する可能性があるものについて、潜在的な水道需として見込む必要があります。

ご不明な点等ございましたら、下記担当までお問い合わせください。

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課
担当 森、案浦
TEL0956-24-1151 （内線 3519）

令和元年12月10日

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本 薫治 様

ハウステンボス株式会社



ハウステンボスにおける使用水量について (回答)

貴局におかれましては時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
日頃より、弊社の事業進出につきましてご理解・ご協力を賜っておりますことに感謝申し上げます。

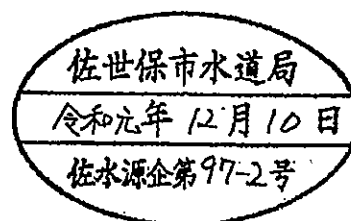
先般、お尋ねいただきました点につきまして、下記の通り回答いたしますので、ご理解の上、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

記

佐世保市が需要計画で想定している20年間に対応する具体的な事業計画はありませんが、県外・海外からの来場者のみならず、市内来場者の増加を図るための事業展開を考えており、5ヶ年間の目標として70万人増を目標としております。

長期的にも、継続した来場者の増加を図っていく方針です。今後の事業展開を見据え、また、非常時対応を含めた場合の想定として、佐世保市が見込んでいる水量（元佐水源企第88号）に特に問題はありません。

以上



地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年12月6日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 (上水をメインとして地下水は、上水同様に使用している。)

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

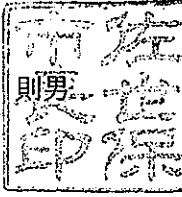
質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 (特になし)

裏面もご回答ください→

九州防衛局長
廣瀬 律子 様

佐世保市長 朝長



水需要の将来見通しにかかる調査について（依頼）

寒冷の候、貴職におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。また、昨年度も、水事情が厳しい折には節水対策にご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

水道は、国防政策はもとより、あらゆる都市活動を下支えする基礎的社会基盤であります。本市では、従前から慢性的に水源が不足しており、度々、給水制限や節水対策等の渇水対策を余儀なくされており、市内防衛施設におきましてもその都度、節水計画を策定していただくなど、ご迷惑をお掛けしております。

そのようなことから、本市では、水道の安定供給確保を市政の最重要課題とし、石木ダム建設をはじめとする事業を進めているところです。

これらの事業は、将来の水の需給状況について見通しを立てたうえで、事故・災害等の非常時や水道使用のピークが重なったときにでも確実に供給することを前提とした水需給計画に基づいて行っており、今年度、計画の見直し作業を行うことを予定しております。

見直しにあたりましては、国防政策に支障を与えないよう、市内の防衛施設についても適切な水量を計画に見込む必要があると考えており、近年、水陸機動団の配備等の経過があることを踏まえ、各防衛施設の将来の一日最大使用水量については、下記の考えに基づき設定することを考えております。

この場合、突発的な基地活動に伴う使用水量の増加や将来の施設拡張等に対応できない可能性も懸念されますことから、今後の国防政策において支障が生じないか、または、過不足なく適切な見込みとなっているか等について、貴省のご見解をご教示いただきたいと存じます。

業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、令和元年12月13日までにご回答賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

- 各施設の一日平均使用水量（年間使用水量を365日で除した値）の過去20年実績値の最大値に、佐世保市全体（一般の生活用水等を含めた全て）の負荷率（年間における水使用の一日平均と一日最大の変動幅を表す率）を用いて、基地施設の一日最大給水量を算定した値を将来の計画値に設定しています。
- 基地活動の性質上、一般の水道使用を含めた全体の変動幅（約1.2倍）に対して、防衛施設の変動幅が大きいものと想定されるが、本市では個別の実績データを把握していないことから、全体と同様の変動を行うものと仮定して設定しています。各施設の計画値は以下の通りとなります。

自衛隊施設 2230 m³/日（令和20年計画値）（平成19年実績を基に算出）

米軍施設 3175 m³/日（令和20年計画値）（平成12年実績を基に算出）

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課
担当 森、案浦
TEL0956-24-1151（内線3519）



九防企地第4997号

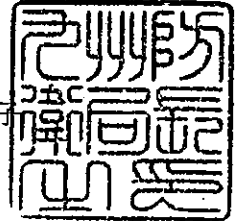
令和元年12月27日

佐世保市長

朝長 則男 殿

九州防衛局長

廣瀬 律子



水需要の将来見通しにかかる調査について（回答）

平素より、海上自衛隊佐世保地方総監部、陸上自衛隊相浦駐屯地及び米海軍佐世保基地等の防衛施設の安定期な運用につきまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

防衛省においては、昨年、「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について」（平成30年12月18日国家保障会議及び閣議決定）を策定しましたが、これまで示されてきた南西地域の防衛体制の強化については、引き続き極めて重要な課題であるとし、「島嶼部を含む我が国に対する攻撃への対応」を「防衛力が果たすべき役割」として明確に位置づけ、海上優勢・航空優勢を獲得・維持するための「海空領域における能力」や「機動・展開能力」を強化することとしています。

南西防衛の要衝である佐世保地区においても、今後、昨年開設された崎辺分屯地を拠点とする水陸機動団の果たす役割の重要度が更に増大するとともに、配備艦艇の更なる増加、南西における警戒監視の所要増大による寄港艦艇数の増大が見込まれ、崎辺東地区において大型護衛艦や「おおすみ」型輸送艦が係留可能な大規模な岸壁等を整備することとしています。

貴市の備える社会基盤は、佐世保地区に所在する防衛施設における多様な活動を支える重要な要素であり、防衛省としても、前述の将来的状況に加え、万が一の災害等の緊急時や有事における迅速かつ適切な諸活動を遂行する必要性などを踏まえれば、十分かつ安定的な水源の確保が、より重要になるものと認識しています。

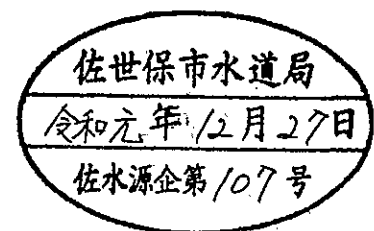
先般、元佐水源企第94号（令和元年12月6日）で依頼のありました水需要の将来見通しにおいて、防衛施設における令和20年計画値が示されております

が、「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について」に示すとおり、我が国を取り巻く安全保障環境は、国家間の相互依存関係が一層拡大・深化する一方、パワーバランスの変化が加速化・複雑化し、既存の秩序をめぐる不確実性が増しており、予断をもって20年後の防衛施設の運用を含めた形態を明示することが困難であること、防衛施設における非常時の態様が様々であり一概に言及することが困難であることから、現状で把握できている計画給水量について以下に示します。

自衛隊施設

(陸自) 計画給水量 (相浦、崎辺、早岐)	約1,400m ³ /日
(海自) 計画給水量 (崎辺東の計画を見込む)	約2,700m ³ /日

以上のとおり、当局としましては、貴市における水道の安定的確保に向けた諸事業が、防衛施設の安定的な運用の実現に大きく寄与するものと認識し、その推進について望んでいます。



長崎県水道事業概要

平成 29 年 度

(平成 30 年 3 月末現在)

長崎県環境部水環境対策課

No.	事業主 体 名		竣工年月	施設者名等
	市町名	施設者名等		
76	佐世保市	野中簡易水道組合	H30.6.25	S38.6.1
77	佐世保市	三本木簡易水道組合	H30.8.28	S55.9.1
78	佐世保市	柳道簡易水道組合	H30.8.30	H14.9.1
79	佐世保市	ホテルオークラJRHハウステナンス	H14.9.25	H7.9.1
80	佐世保市	ハウステナンス	H27.6.25	H25.11.14
81	佐世保市	長崎博愛会 佐世保保健園	H14.9.27	S46.3.1
82	佐世保市	長崎県佐世保青少年の天地	H14.9.27	S63.8.1
83	佐世保市	ホテル ローレイ	H14.9.30	H12.5.1
84	佐世保市	ザ・パラダイス・ガーデン・サセボ	H14.9.30	H4.4.1
85	佐世保市	長崎労災病院	H24.12.12	H24.12.12
86	佐世保市	社会福祉法人 あしたば会	H22.7.22	H22.7.22
87	佐世保市	鹿町福祉村	H24.4.10	H24.3.30
88	佐世保市	やまづみ荘	H25.7.2	H25.6.29
89	佐世保市	佐世保共済病院	H28.2.26	H28.2.15
90	佐世保市	佐世保刑務所	S47.3.14	S45.8.1
91	島原市	医療法人ウイング高城病院	H7.12.1	H4.10.1
92	島原市	株式会社南風楼	H14.9.30	H14.9.1
93	諫早市	柳尾病院	S59.3.31	S43.10.1
94	諫早市	社会福祉法人 華生会 諫早療育センター	S59.3.31	S58.12.1
95	諫早市	医療法人 青藍会 みどりの園病院	S59.3.31	S45.12.1
96	諫早市	医療法人 仁祐会 小島居福寿病院	S59.3.31	S56.3.1
97	諫早市	医療法人 祐里会 柳川病院	S61.2.21	S60.4.1
98	諫早市	医療法人 見松会 あき山病院	H14.2.5	H13.1.1
99	諫早市	独立行政法人 国立少年自然の家	H14.9.27	
100	諫早市	一般社団法人 長崎県公園緑地協会 総合運動公園	H14.11.26	
101	諫早市	学校法人 教西学園	H14.11.26	H14.9.1
102	諫早市	健康保険 諫早総合病院	H14.10.17	
103	諫早市	福祉村専用水道組合	H15.11.28	
104	諫早市	社会福祉法人 慈恵福祉会 特別養護老人ホーム悠徳荘	H14.9.27	S52.3.1
105	諫早市	医療法人 大塚会 唐比病院	S60.5.16	S60.8.1
106	諫早市	社会福祉法人 聖家会 みさかえの園	S54.9.6	H7.3.1
107	諫早市	社会福祉法人 見松会 特別養護老人ホーム しろみ	H17.9.9	H17.10.1
108	諫早市	ルートインジャパン(株) ルートイン諫早	H19.4.25	H19.6.12
109	諫早市	社会福祉法人聖家会みさかえの園総合養護施設センターむつみの家	H19.12.4	H20.2.20
110	諫早市	特定医療法人 三休会 志崎病院	H20.2.14	H20.3.5
111	諫早市	諫早市 こともの城	H21.2.10	H21.1.30
112	諫早市	(株) パラダイス Super D' station 諫早店	H21.11.19	H21.12.7
113	諫早市	医療法人社団 尚整会 聖形整形外科病院	H24.2.15	H10.1.1

No.	施設時間 (人)	在 給 水 人 口 (人)	施設 能力 (m ³ /日)	専 門 員 数 (人)	水源の 種別	原水の 種別	浄 施	水 設	施設の 種別	給水 状況 ※	附 帯 管理 等
	855	409	93		表流水	自己水源	緩速ろ過		専用	1	有
	212	140	30		深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	141	116	27		表流水	自己水源	緩速ろ過		専用	1	有
	0	0	625		深井戸・市	併用	膜ろ過		併用	1	有
	0	0	1,380		深井戸・市	併用	膜ろ過		併用	1	有
	288	288	180		表井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	0	0	116		深井戸	自己水源	急速ろ過		専用	1	有
	0	0	54		表井戸	自己水源	膜ろ過		専用	1	有
	0	0	280		深井戸	自己水源	急速ろ過		併用	1	有
	0	0	250		深井戸・市	併用	膜ろ過		専用	1	有
	210	183	57		深井戸	自己水源	除鉄		専用	1	有
	120	120	60		深井戸	自己水源	除鉄		専用	1	有
	140	120	74		深井戸	自己水源	膜ろ過		専用	1	有
	0	0	240		深井戸・市	併用	膜ろ過		専用	1	無
	1,100	350	918		深井戸	自己水源	急速ろ過		専用	1	有
	122	300	106	3	深井戸	自己水源	簡易ろ過		専用	1	有
	200	20	58	1	深井戸	併用	消毒のみ		併用	1	有
	435	289	326	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	230	160	150	1	浄水受水 深井戸	併用	急速ろ過		専用	1	有
	279	200	279	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	376	327	88	1	浄水受水 深井戸	併用	消毒のみ		専用	1	有
	210	168	58	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	474	420	35	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	400	5	270	1	深井戸	自己水源	除鉄		専用	1	有
	5,000	0	68	1	深井戸	自己水源	除鉄		専用	1	有
	1,491	0	78	1	浄水受水 深井戸	併用	除鉄		専用	1	有
	1,632	0	380	1	浄水受水 深井戸	併用	膜ろ過		専用	1	有
	1,297	0	228	1	深井戸	自己水源	膜ろ過		専用	1	有
			20	2	浄水受水 深井戸	併用	消毒のみ		専用	1	無
	250	170	84	2	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	1,110	562	444	2	深井戸	自己水源	急速ろ過		専用	1	有
	720	80	74	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
		0	49	1	浄水受水 深井戸	併用	除鉄		専用	1	有
	500	500	154	1	深井戸	自己水源	急速ろ過		専用	1	有
	453	357	63	1	浄水受水 深井戸	併用	膜ろ過		専用	1	有
	572	0	18	1	深井戸	自己水源	急速ろ過		専用	1	有
	1,290	0	40	1	深井戸	自己水源	消毒のみ		専用	1	有
	208	170	50	1	浄水受水 深井戸	併用	除鉄		専用	1	有

令和元年11月6日

J R九州ハウステンボスホテル株式会社 御中

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本 泰



水需要の将来見直しにかかる調査について (お願い)

晩秋の候、貴社におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、市政の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、慢性的な水源不足の抜本的な解消を図るため、石木ダム建設事業を最重要施設のひとつと位置付け建設促進に向けて取り組んでいるところです。この石木ダム建設事業にかかる水道の需要計画については、社会経済等の情勢を反映させるために定期的に見直しを行っております。

水道の需要計画は、一定規模の渇水時においても、安定的に水道の供給を確保できる計画とする必要があり、計画の見直しを行う際には、市内の水道需要の見直し等について調査・検討を行う必要があります。

その際に、上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

以 上

水道局水源対策・企画課

(TEL 0956-25-9660)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点はありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

質問5 今のところ、本市の水道需要計画では、以下の水量を潜在的需要として見込むことを考えています。この数値に対する貴社の考えを教えてください。

【現時点で予定している水量】

平成29年度長崎県水道事業概要施設能力値【ホテルオークラ】：625 m³/日

見込む水量として適切である。

もっと多くの水量を見込んでほしい（希望水量： m³/日）

（理由：

見込む水量を減らしてほしい（希望水量： 320.6 m³/日）

（理由： 2018.10～2019.9までの平均使用水量

潜在的需要として見込む必要はない。

（理由：

質問6 その他、ご意見等ございましたらご記入をお願いします。

令和元年 11月 8日

事業者名 JR九州ハウステンボスホテル株式会社

回答者名

調査に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートに関し、何かご不明な点等ございましたら、お手数ですが、下記担当までお問い合わせください。

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課

担当 森、栗浦

TEL0956-24-1151 (内線 3519)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他(地下水がメインだが調理室・調理機器と調理用に上水道を使用している。 ※洗浄は地下水使用)

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他(停電の場合)

裏面もご回答ください→

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 (上水道配管が属している)

質問3 地下水の使用について、不安な点はありませんか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
 - 地下水の汚濁、水質悪化など
 - ポンプ等の故障、老朽化など
 - ポンプ等の維持管理費用の問題など
 - 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
 - その他 ()
- ← 今後の不安

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 (厨房での使用に上水道で今後考えたい)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。

平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。

飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。

地下水のみを使用している。

その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

不安なし

上水に比べてコストが安い

地下水の水質が優れている。

業務上、上水道ほどの水質を求めている。

その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

地下水の減少、枯渇など

地下水の汚濁、水質悪化など

ポンプ等の故障、老朽化など

ポンプ等の維持管理費用の問題など

地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など

その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

将来的にも上水道の使用は考えていない。

非常時等には上水道を使用することを考えている。

その他 ()

裏面もご回答ください→

質問5 今のところ、本市の水道需要計画では、以下の水量を潜在的需要として見込むことを考えています。この数値に対する貴社の考えを教えてください。

【現時点で予定している水量】

平成29年度長崎県水道事業概要施設能力値【ザ・パラダイスガーデン サセボ】：280 m³/日

見込む水量として適切である。

もっと多くの水量を見込んでほしい(希望水量： m³/日)

(理由：)

見込む水量を減らしてほしい(希望水量： 200 m³/日)

(理由： 100 ~ 130 m³/日平均)

潜在的需要として見込む必要はない。

(理由：)

質問6 その他、ご意見等ございましたらご記入をお願いします。

{

}

令和 / 年 // 月 // 日

事業者名

(株) イレブン
ザ・パラダイスガーデン サセボ

回答者名

[Redacted]

調査に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートに関し、何かご不明な点等ございましたら、お手数ですが、下記担当までお問い合わせください。

以 上

佐世保市水道局 水源対策・企画課

担当 森、案浦

TEL0956-24-1151 (内線 3519)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

質問5 今のところ、本市の水道需要計画では、以下の水量を潜在的需要として見込むことを考えています。この数値に対する貴院の考えを教えてください。

【現時点で予定している水量】

平成29年度長崎県水道事業概要施設能力値【長崎労災病院】：250 m³/日

見込む水量として適切である。

もっと多くの水量を見込んでほしい（希望水量： m³/日）

（理由：

見込む水量を減らしてほしい（希望水量： m³/日）

（理由：

潜在的需要として見込む必要はない。

（理由：

質問6 その他、ご意見等ございましたらご記入をお願いします。

{

}

令和 元 年 // 月 // 日

事業者名

長崎労災病院

回答者名

調査に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートに関し、何かご不明な点等ございましたら、お手数ですが、下記担当までお問い合わせください。

以 上

佐世保市水道局 水源対策・企画課

担当 森、案浦

TEL0956-24-1151 (内線 3519)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点はありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 (刑務所(新設)時から使用しているため、それ以外の理由はわかりません。)

質問3 地下水の使用について、不安な点がありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

質問5 今のところ、本市の水道需要計画では、以下の水量を潜在的需要として見込むことを考えています。この数値に対する貴職の考えを教えてください。

【現時点で予定している水量】

平成29年度長崎県水道事業概要施設能力値【佐世保拘置支所】：918 m³/日

見込む水量として適切である。

もっと多くの水量を見込んでほしい（希望水量： m³/日）

（理由：)

見込む水量を減らしてほしい（希望水量： 400 m³/日）

（理由：職員数、収容者数が減少したため。)

潜在的需要として見込む必要はない。

（理由：)

質問6 その他、ご意見等ございましたらご記入をお願いします。

H31.4.1から佐世保拘置支所として運営していましたが、職員数、収容者数が減少し、使用量が減りました。

令和元年11月8日

事業者名

佐世保拘置支所

回答者名

調査に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートに関し、何かご不明な点等ございましたら、お手数ですが、下記担当までお問い合わせください。

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課

担当 森、栗浦

TEL0956-24-1151 (内線 3519)

地下水の使用状況に関する調査票

上水道の給水区域内で地下水を使用されている事業者については、地下水水質の汚染や水質の低下等の事案が生じた際に、水道水の使用に転換し、水道供給において不足が生じる恐れもあることから、「潜在的な水需要」として調査・検討を行うこととされています。

つきましては、業務多忙の中、まことに恐縮ですが、以下のアンケートにご記入いただき、同封しております返信用封筒にて、令和元年11月20日までにご回答くださいますようお願い申し上げます。

質問1 地下水の利用形態を教えてください。(複数選択可)

- 地下水をメインに使用し、上水道は非常時のバックアップとしている。
- 平時から地下水だけでは不足するため、不足分を上水道で補っている。
- 飲用には上水を使用し、それ以外で地下水を使用している。
- 地下水のみを使用している。
- その他 ()

質問2 地下水を使用している理由を教えてください。(複数選択可)

- 不安なし
- 上水に比べてコストが安い
- 地下水の水質が優れている。
- 業務上、上水道ほどの水質を求めている。
- その他 ()

質問3 地下水の使用について、不安な点はありますか。(複数選択可)

- 地下水の減少、枯渇など
- 地下水の汚濁、水質悪化など
- ポンプ等の故障、老朽化など
- ポンプ等の維持管理費用の問題など
- 地盤沈下等、周辺地域への影響の懸念など
- その他 ()

質問4 事故・災害等の非常時や地下水の水質・水量に不安がある場合の水道使用の考えについて教えてください。(複数選択可)

- 将来的にも上水道の使用は考えていない。
- 非常時等には上水道を使用することを考えている。
- その他 ()

裏面もご回答ください→

質問5 今のところ、本市の水道需要計画では、以下の水量を潜在的需要として見込むことを考えています。この数値に対する貴施設の考えを教えてください。

【現時点で予定している水量】

平成29年度長崎県水道事業概要施設能力値【鹿町福祉村】：60 m³/日

見込む水量として適切である。

もっと多くの水量を見込んでほしい（希望水量：不明 m³/日）

（理由：地下水の減少のため。）

見込む水量を減らしてほしい（希望水量： m³/日）

（理由：

潜在的需要として見込む必要はない。

（理由：

質問6 その他、ご意見等ございましたらご記入をお願いします。

令和元年 11月 11日

事業者名

鹿町福祉村

回答者名

調査に御協力いただき、ありがとうございました。アンケートに関し、何かご不明な点等ございましたら、お手数ですが、下記担当までお問い合わせください。

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課

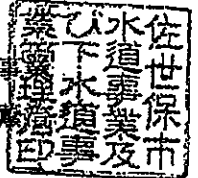
担当 森、案浦

TEL0956-24-1151 (内線 3519)

令和元年11月12日

佐世保市長 朝長 則男 様
(担当 企画部)

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本 森



水需要の将来見通しについて (お願い)

水道は市民生活や都市活動を維持していく上で不可欠な重要インフラであり、安全な水を安定して供給することが法律で義務付けられており、定期的に将来の水需給の見通し(水需要計画)を立て、水道の安定供給に努めています。

水需要計画の策定にあたっては、市内の水需要の動向を把握し、法の責務に基づいた供給能力を算定する必要があります。

その中で、佐世保市総合基本計画の推進の観点から新たな水需要を伴う新規計画等について可能な限り正確に確認することが重要と考えております。

つきましては、下記項目についてご教示いただきますようお願いいたします。

記

1. 俵ヶ浦半島公園の今後の計画について (供用時期等がわかるもの)
2. 当公園における必要水量およびその使用開始時期について

以上
水源対策・企画課
担当：森 (3519)

元 政 第 3 1 2 号
令和元年11月29日

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本 薫治

佐世保市長 朝長



水需要の将来見通しについて【回答：俵ヶ浦半島公園（仮称）について】

みだしのことについて、下記のとおり回答いたします。

記

1 依頼事項

1. 俵ヶ浦半島公園の今後の計画について（供用開始時期が分かるもの）
2. 当公園における水需要量及びその使用開始時期について

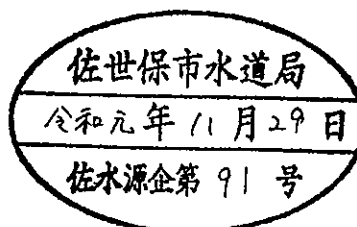
2 回 答

- ✓ 俵ヶ浦半島公園（仮称）の供用開始については、令和2年度中を目途としております。
- ✓ 水道の使用開始時期についても上記と同様です。
- ✓ 水需要量については、導入するレストランなどの用途、規模その他コンテンツを検討中です。
- ✓ 九十九島動植物園の移転についてはその可否を検討中であり決定したものではありません。

別添資料参照 : 令和元年6月議会 総務委員会・企業経済委員会連合審査会資料

以 上

企画部 政策経営課
担当：吉永 山口
内線：2426



令和元年 6月定例会

総務委員会・企業経済委員会連合審査会 説明資料

【議案名】

第92号議案 令和元年度佐世保市一般会計補正予算（第3号）

【目次】

九十九島動物園移転検討経費 2P～12P

企画部 政策経営課 ・ 観光商工部 観光課

1. 俵ヶ浦半島公園（仮称）に係るコンテンツ導入検討の経過

(1) 俵ヶ浦半島公園（仮称）に係る経緯

項目	市所管	費用（千円）
S49	障害者福祉施設（県立コロニー）開所	
H18	運営主体及び施設を長崎県障害者福祉事業団に委譲（つくも苑に名称変更）	
H21	長崎県が移転建替を表明	
H24	つくも苑跡地を県営工業団地とするので県・市・地元合意	
H24.7	佐世保つくも工業団地地区計画決定	
H28.4	つくも苑移転（大潟町） ※この間、工業団地整備未着手	
H28.4～	俵ヶ浦半島活性化の動きが始動	
H28.8	地元より、半島活性化の取組と連携した地活用案検討のお願い	
H28.9～	● つくも苑跡地活用基本構想検討業務	
H28.12	● 地元より、工業団地から観光公園への転換を求める申し入れあり	
H29.1	長崎県に対し上記同様の申し入れあり	
H29.1～	● つくも苑跡地活用基本設計業務	
H29.8～	● 佐世保市国際クルーズ拠点形成を契機とした官民連携による活性化策検討調査 ※一部、俵ヶ浦半島公園（仮称）における官民連携策検討を含む 民間事業者ヒアリング意見 ⇒ 全天候型施設、ふれあい動物園、環境学習施設、農産物直売施設、グランピング といったアイデアが提示された	
H29.9～	● 造成工事実施設計	7,560 (内県費 3,780)
H30.7～	● 造成工事	447,280 (内県費 223,640)
H30.～	● 土壌調査	7,255 (県費 3,627.5)
H30.～	● 公園実施設計	22,209 (県費 11,104.5)
H30.～	● 造成工事中	
	俵ヶ浦半島開発の視点で、観光コンテンツ導入検討継続	

(2) 俵ヶ浦半島振興の経緯と半島活性化の動き

①俵ヶ浦半島地域の現状と課題

- 俵ヶ浦半島は、地勢的不利条件、過疎等を背景とした人口減少といった課題があるにも関わらず、半島振興法・過疎法の適用を受けられず、結果、小中学校の統廃合等を背景に地域コミュニティの疲弊、連帯感や地域活性化への意欲の低下が懸念されていた。
- 苦渋の決断をもって移転を受け入れた「つくも苑跡地」の県営工業団地計画についても、本體工事の着手に至っておらず、地元からは不安の声が上がっていた。

②俵ヶ浦半島活性化の動き

- 俵ヶ浦半島では、平成25年度より観光トレイルネットワークに取組んでおり、その流れから半島活性化の機運が高まり、平成28年度より、広く地域住民を巻き込んだ議論を経て、地元と市の協働で俵ヶ浦半島振興計画を策定し、現在計画に沿った地域主体の取組を推進している。
- 振興計画策定の過程において、半島の中心部に位置し、展海峰や花の森公園との連携が図りやすい、この『つくも苑跡地』について、現在の工業団地計画にこだわらず、半島振興の取組と連携した土地利用を佐世保市に考えて欲しいとの要望があった。

(3) 地元（俵ヶ浦半島開発協議会）からの申入れ：H28.12

地元の俵ヶ浦半島開発協議会に対し、市が検討した活用策を提案
 (つくも苑跡地活用基本構想検討業務)
 半島振興計画及び今後の活性化の取組との整合、当該地が持つ眺望や景観といった魅力を整理し、「つくも苑跡地活用策」を検討。
 併せて、クルーズ船観光客の増加が見込まれる中で、九十九島観光の周遊性を向上させ、新たな体験交流型観光の拠点となりえるものを想定。

地元から、正式に県の工業団地から、市が提案した活用策への転換を求める要望が提出された。

平成28年12月7日

俵ヶ浦半島開発協議会 会長 尾崎 隆 弘

つくも苑跡地の活用について（要綱）

真摯におかれましては、日頃より俵ヶ浦半島の発展にご協力賜り感謝申し上げます。さて、前述の「つくも苑跡地」については、平成28年1月15日付で、工業団地を撤廃することで、長崎県、佐世保市、俵ヶ浦半島開発協議会の三者で覚書を締結しておりますが、なかなか進捗が見えず、私どもとしても不安を感じていたところで、

そのうち、今年から貴団体の協力のもと、俵ヶ浦半島振興計画策定に取組む中で、工業団地にこだわらず、私どもが考える俵ヶ浦半島の将来像と連携した活用が考えられないかとの思いに至りました。

今年8月に長崎県工業団地以外の半島振興と連携した活用案のご検討をお願いしておりましたところ、展海峰や花の森公園等との連携が見込み、半島への来訪者、居住者を引き付けるような活用案をご提案いただきました。

ご提案いただいた活用案について私どもも各町内会の役員を含む議論をした結果、現在ある工業団地計画よりも、より私どもが考える半島の将来像と連携し、調和のとれたものとの意見でまとまったところをご報告いたします。

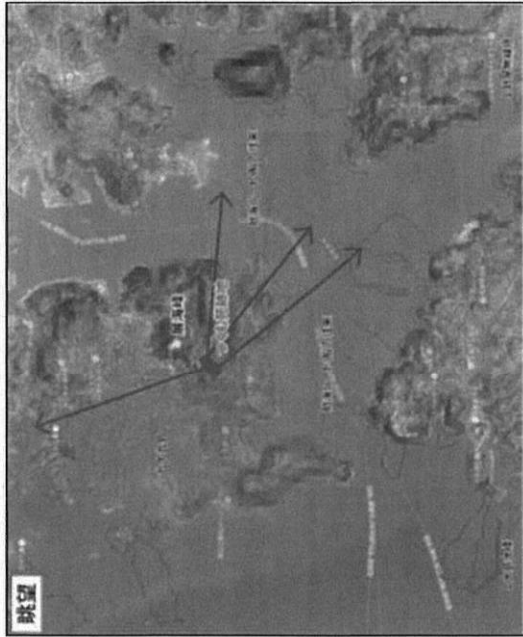
つきましては、つくも苑跡地活用に関し、以下のご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、長崎県に対しては、同時に、真摯につきも御理解を頂戴いただくにあたり、ご協力等を要請することとしております。

記

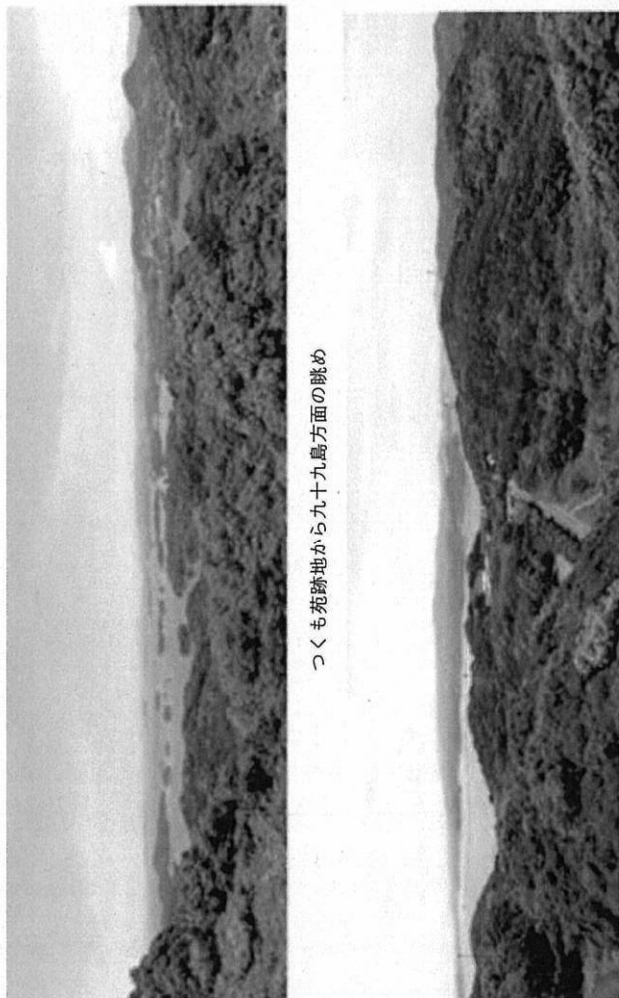
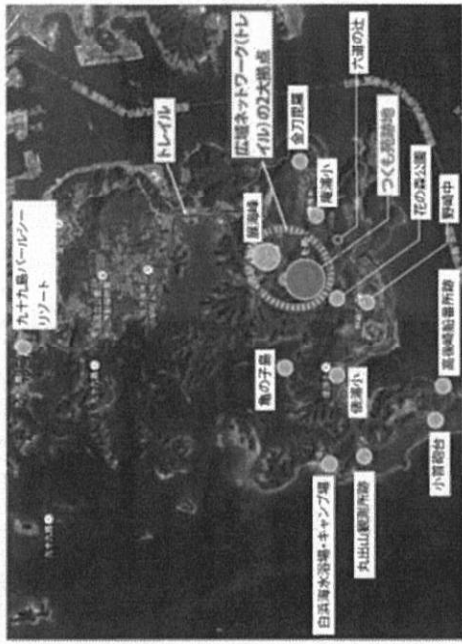
- 佐世保市が主体となって、つくも苑跡地において、俵ヶ浦半島らしい自然景観を守り活かした滞在と交流ができる施設を整備して頂くこと。
- 上記施設の整備・運営においては、私ども俵ヶ浦半島振興協議会とこれからの活性化の取組との連携についてご配慮頂くこと。

(4) 地元と合意したつくも苑跡地活用基本構想【俵ヶ浦半島公園（仮称）基本構想】の概要

① 地形的に九十九島、西海市、針尾島が見渡せる位置と高さにある眺望を活かす。



② 地理的に半島の地域資源を巡るトレイルコースの発着点と成り得る。俵ヶ浦半島のゲートウェイ機能を果たす。

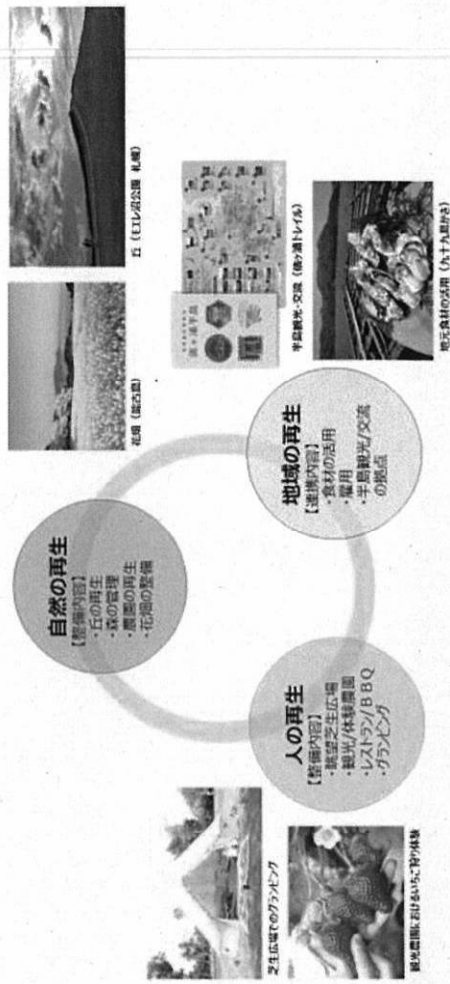


つくも苑跡地から九十九島方面の眺め

つくも苑跡地から大島、針尾島方面の眺め

③ 環境（自然・人・地域）再生する

- 「自然の再生」つくも苑整備前の姿（森と農地）を再生し、半島の自然環境・景観と調和させる。
- 「人の再生」訪れた人がリフレッシュできるよう、多様な活動が展開できる機能をもたせる。
- 「地域の再生」運営面を含め俵ヶ浦半島地域と連携し、地域活性化に資する。



俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動物園移転検討について

(5) 俵ヶ浦半島開発の全体像

俵ヶ浦半島公園（仮称）整備

・ H29年度 国際クルーズ拠点形成（先導的官民連携に係る調査検討）

クルーズ船観光客周遊の現状
・ 市外（有田、長崎、福岡方面）への周遊
・ 市内観光地



市内周遊のコアの確立
・ 中心商店街
・ 九十九島エリア
・ HTB



市内各観光地への周遊
・ 江迎、三川内など
・ 「コト消費」観光コンテンツへの周遊



九十九島エリアへの周遊

・ H28 基本構想、基本設計

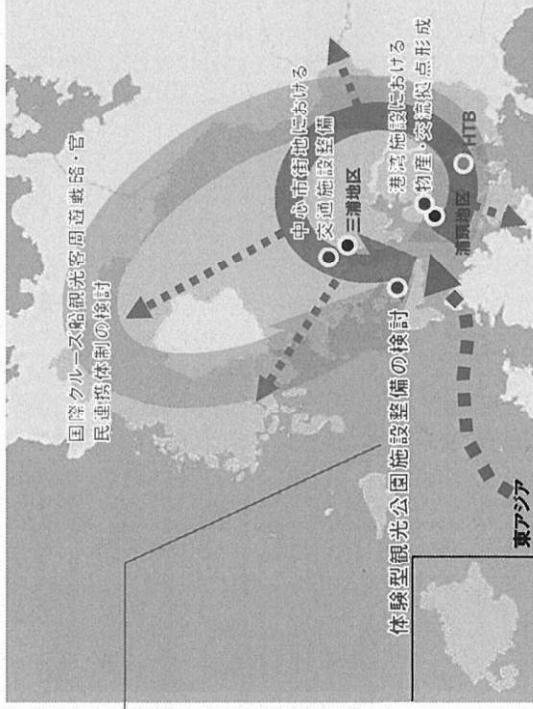
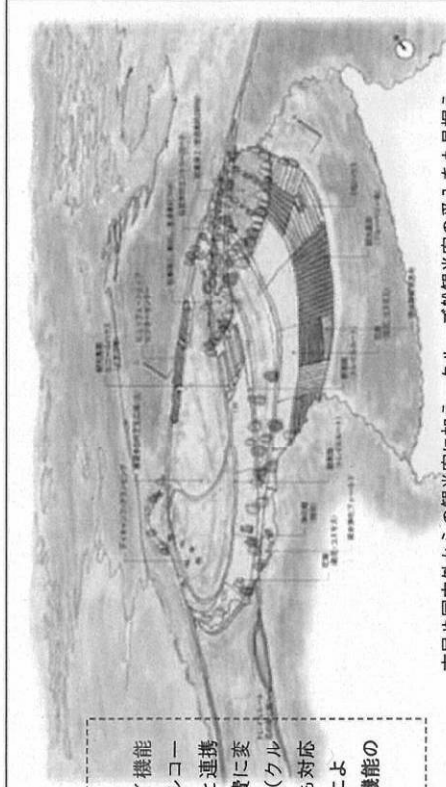
【概要】

- ◆ 俵ヶ浦半島へのゲートウェイ機能を果たし、ここからトレイルコースを通じ、半島の地域資源と連携
- ◆ 他方、モノ消費からコト消費に変化するインバウンド観光客（クルーズ船観光客）のニーズにも対応
- ◆ 丘を再生し、官民連携手法により、飲食機能と体験型観光機能の導入を検討

市民や国内外からの観光客に加え、クルーズ船観光客の受入をも見据えた俵ヶ浦半島公園（仮称）のイメージ

・ H29年度 造成設計 H30年度～造成工事 公園実施設計
※国際クルーズ拠点形成に係る港湾整備とできる限り歩調を合わせながら並行して造成工事に着手

都市整備部

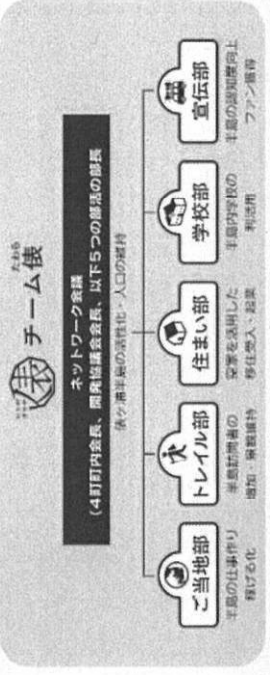


俵ヶ浦半島振興

・ H28、H29、H30 地方創生まちづくり（俵ヶ浦）

【概要】

- 俵ヶ浦半島における地域住民が主体となった地方創生まちづくりのモデル地域として支援
- 組織（チーム俵）づくり ⇒ H30.4 一般社団法人化
- これまでの人口減少・活力低下の負のスパイラルの脱却をめざし、地域の魅力向上⇒人口減少対策⇒コミュニティの持続といった好循環をつくる取組



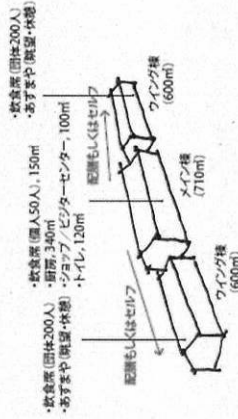
【これまでの取組】

- H28年度…半島未来計画策定 ⇒ つくも宛跡地活用策の転換
- H29年度…半島キッズタウン ツツテ・ホツテ (旧ふれあい工房のリニューアル) 廃校活用に係る調査・研究
- H30年度…商品開発 ウォーキングイベントの収益化 体験型観光プログラム開発 など

(6) 俵ヶ浦半島公園（仮称）のコンテンツに係る検討状況

① コンテンツの規模等の想定
【レストラン】

- 想定規模 客席数：450席
建築面積：約2,000㎡
- 稼働率80%とすると・・・
⇒ 2回転：720人受入可能
*入港人数3,600人の20%
⇒ 3回転：1,080人受入可能
*入港人数5,400人の20%



【農園】

- 想定規模：イチゴハウス：2,100㎡ ブルーベリー農園：16,600㎡ 合計約2ha
- ※ あくまで、収支予測を行う為の想定。耕作物は民間事業者の自由な提案による。

② 収支予測

【市による試算結果】

- レストラン事業の収支
 - ・ 客単価を1,000円と仮定した場合（事業期間10年）
 - ⇒ 年間30万人（単年度営業収入 3億円）で民間の独立採算が可能
 - ⇒ 年間15万人（単年度営業収入1.5億円）で運営のみの独立採算が可能
 - * 運営のみ独立採算：テナント方式、建物本体、内装、空調整備費を市が負担。
BTO方式、民間が整備し行政買取り。
 - ・ 客単価を1,400円と仮定した場合（事業期間10年）
 - ⇒ 年間21万人（単年度営業収入 3億円）で民間の独立採算が可能
 - ⇒ 年間11万人（単年度営業収入1.5億円）で運営のみの独立採算が可能
- 観光農園事業の収支
 - ・ 入地料を200円と仮定した場合（事業期間10年）
 - 【前提条件】 イチゴハウス：2,100㎡ ブルーベリー農園：16,600㎡
 - 入場者数16,000人/年（イチゴ：7,900人/年、8,300人/年）
 - 造成費と農機具倉庫を市が負担した場合。
 - ⇒ 事業開始3年目から黒字となり10年間の収支において独立採算が可能。
- 事業全体の評価
 - ・ クルーズ船観光客によるレストラン収益をベースとすることで、事業全体の事業採算性がたと判断。

③ 民間事業者ヒアリング
○ 佐世保PPPプラットフォームセミナーにおける官民対話の結果

- 事業全体への民間の参画意欲
 - ・ 民間事業者の当事業への参画意欲は高かった。
 - * セミナー参加者50人
 - * 意見交換会参加9団体（企業、金融機関等）
- レストランについて
 - クルーズ船観光客のみならず、国内観光客を取り込む工夫によって独立採算も可能との意見あり。
 - 他方、団体のクルーズ船観光客に対応する客席数を確保する場合、事業リスクを一定行政が担う仕組みが必要である趣旨の意見もあり。
- 農園について
 - 国内観光客やUJ Iターナーを対象とした体験型農園として独立採算の提案あり。
 - 天候に左右されるリスクと、投資に対する受益者（お客）の負担のバランスから農園だけではなく更なる魅力が必要との意見もあった。

○ 同種の公園施設の事業実施者への個別ヒアリング（全国規模の企業）

- 公園のポテンシャル
 - 西海国立公園に位置し観光ポテンシャルはある。
- 収益施設（レストラン・観光農園）について
 - 本事業を民間の独立採算とする場合は、建物整備を市が負担し、民間事業者が内装を負担するといったリスク分担の検討が必要との意見あり。
 - ※ 市の予想どおりの収益が上がった場合に、返還するプロフィットシェアなど。
- 他のコンテンツに係る提案（プラットフォーム、個別ヒアリング）
 - ✓ 宿泊施設（ホテル、コテージ）
 - ✓ 温泉施設
 - ✓ 展望タワー
 - ✓ オートキャンプ場
 - ✓ 団体客を受け入れる全天候型施設
 - ✓ 売店（物販施設）
 - ✓ ふれあい動物園
 - ✓ 環境学習施設
 - ✓ 地元物産等の販売所
 - ✓ 観覧車
 - ✓ デイキャンプ
 - ✓ グランピング

レストランの収益性を高めるためにも、一年を通じて安定した集客力のあるコンテンツが必要

2. 九十九島動植物園（森きらら）の活性化検討の経過

(1) 九十九島動植物園（森きらら）のこれまでの経過

項目	建設費用（千円）
S36 佐世保市亜熱帯動植物園 開園	-
H20 動植物園活性化計画策定	
H21 活性化計画 第1期	108,068
● ふれあいゾーン（多目的ホール・多目的ステージ含む）	
● ツシマヤマネコ飼育下繁殖施設	45,273
● モンキーゾーン（ニホンザル舎、テナガザル雲梯、キツネザル舎等）	157,124
● ツシマヤマネコ展示施設	30,726
● 駐車場整備	41,233
● 疾病鳥獣一時収容施設	19,499
● ペンギン館	538,331
H23-25 施設の老朽化や、大型動物が入手困難な状況等を背景に、「今後の動植物園のあり方」を検討	
H30 第1期をもって活性化計画の終了を決定。今後のあり方として動物とのふれあいや、動物の能力をリアルに感じる場として、「ソフットに応じたハードづくり」という施設整備の方向性を決定	
H30～ 「動物園のあり方」を踏まえた活性化策を検討	

(2) 九十九島動植物園（森きらら）活性化計画(当初)の概要

期別	供用開始年(当初予定)	主な整備施設
第1期	H22	ふれあいゾーン 自然観察ゾーン（ヤマネコ繁殖施設）
	H23	モンキーゾーン（樹上性） 日本の森ゾーン（ヤマネコ展示施設）
	H24	展望ゾーン（未実施） 鳥類ゾーン（ペンギン）
第2期	H25	サバンナ・砂漠ゾーン（未実施） モンキーゾーン（地上性；未実施）
第3期	H26	熱帯林ゾーン（未実施）
	H27	鳥類ゾーン（ウオウクインゲンジ；未実施）
第4期	H28	ウエルカムゾーン（未実施）
	H29	日本の森ゾーン（クマ；未実施）
	H30	アジアの森ゾーン（未実施）

(3) 九十九島動植物園（森きらら）のあり方

① 検討に至った背景

- ① 園内には昭和36年の開園当初からの施設などが数多く残っている。
- ② 動植物園活性化計画第1期整備により市外からの来園者が増加したことで、年間入園者数は増加したが、目標とする入園者数（29万人）には届かなかった。
- ③ 近年の入園者数は減少傾向にあり、特に市民利用者の減少が顕著である。

② 今後の動植物園の方向性

上記背景を基に、第1期整備計画の検証結果、外部有識者からの意見を踏まえ平成30年に「今後の動植物園のあり方」及び「今後の動植物園の方向性」を定めた。

【今後の動植物園のあり方】

- ① 市民が誇りに思い、近隣地域の住民に愛される場所
- ② 図鑑では体験できない、動植物本来の能力をリアルに感じる場所
- ③ 市民の教育施設であり、こいの場となる場所

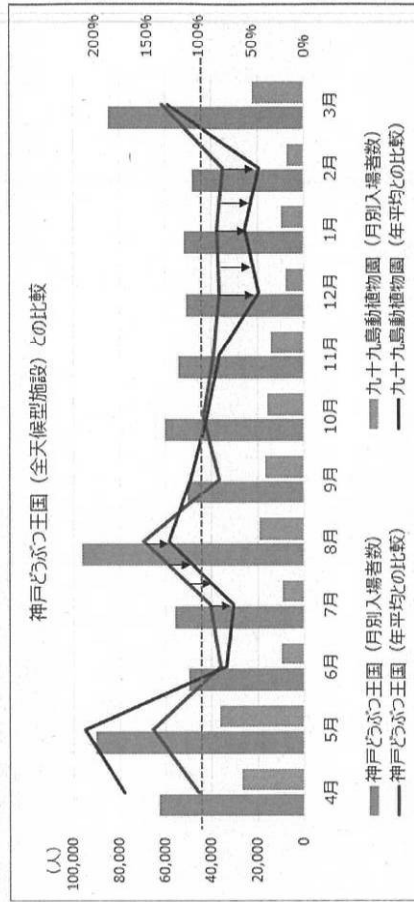
【今後の動植物園の方向性】

- ① 地方の動植物園が持続性のある運営を行うには、経営基盤である市民の利用者を増加させ、足を固めるとを最優先とする。
- ② 既存の飼育動物（野生動物）を中心とした展示を行う。（現時点ではゾウの導入は行わない。）
- ③ 既存の飼育動物で、魅力ある展示手法を再構築する。
- ④ 当面は大規模な施設の新設を行わない。（佐世保市亜熱帯動植物園活性化計画は、第1期整備をもって終了とする。なお、将来的な整備については、入園者の動向等や周辺地域の状況を見ながら引き続き検討する。）

(4) 近年の九十九島動植物園（森きらら）の入園者状況

	入園者数	対前年度比	考察
H22	165,881人	88.3%	口蹄疫、夏場の猛暑
H23	208,756	125.8%	動物との体験イベントの拡充効果
H24	205,168	98.3%	SNS等による情報発信、夏場の猛暑の影響
H25	232,402	113.3%	1月のペンギン舎のオープン効果、3月のキリン展示の再開効果
H26	218,336	93.9%	前年のペンギン舎オープン効果の反動
H27	207,398	95.0%	台風等の悪天候
H28	201,944	97.4%	台風等の悪天候
H29	209,023	103.5%	海外クルーズ客の増加、12月週末の悪天候
H30	192,438	92.1%	海外クルーズ客の減少、5月の天候不良、7月豪雨・台風等

(5) 他の全天候型動物園のとの比較 (H29実績)



近年の酷暑により、本来集客が期待される8月（夏休み期間）に神戸どうぶつ王国ほど伸びていない。また、冬季に年平均の50%を切っている月（12月、2月）があるが、神戸どうぶつ王国は最も低い月（2月）でも年平均の76.4%であり一年を通じて安定した集客が図られていることが年間の集客を押し上げている要因と言える。

3. 俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動物園（森きらら）移転検討に至った背景

(1) 俵ヶ浦半島公園（仮称）へのコンテンツ導入から見た視点

民間事業者から提案されたアイデア

- 宿泊施設（ホテル、コテージ） ● 温泉施設 ● 展望タワー
- オートキャンプ場 ● 団体客を受け入れる全天候型施設
- 売店（物販施設） ● ふれあい動物園 ● 環境学習施設
- 地元物産等の販売所 ● 観覧車 ● テイクアウト ● グランピング

導入するコンテンツ検討の視点

- ① 半島のゲートウェイ機能
地域住民が取組んでいる体験型観光コンテンツやトレイルコースを活かしたウォーキングイベントへの誘客が図られる、リピーターや一定の滞在時間が見込まれる施設。
- ② 公園のコンセプトとの調和
「人の再生 訪れた人がリフレッシュできる機能」と調和する施設。
- ③ レストランの安定した集客
レストランの安定的な集客につながり、また更なる半島への民間投資の呼び込みに繋がりが得る施設。

上記視点で、改めて全庁的に導入するコンテンツの検討を実施

(2) 九十九島動物園（森きらら）の活性化から見た視点

九十九島動物園（森きらら）の課題

- 施設の老朽化
- 荒天時の集客への影響

九十九島動物園（森きらら）活性化に向けた検討の視点

- ① 「動物本来の能力をリアルに感じる場所」の実現
動物のトレーニング及びその人材育成を含めたソフト事業の計画
- ② あり方で掲げる「ソフトに応じたハードづくり」の実現
ソフト事業の計画に応じたハード整備計画
- ③ 市民の教育的施設、憩いの場所の継続
事業採算性を向上し、動物園機能継続させる

現在地において、既存の動物園を継続する中で、ソフト事業の充実と老朽化した施設の更新を計画的に実施することは極めて困難

8つのリーディングプロジェクトの推進として、俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動物園（森きらら）の移転を検討

8つのリーディングプロジェクトの推進として移転を調査検討

俵ヶ浦半島開発及び世界で最も美しい湾クラブ・世界遺産・日本遺産の活用を推進する取組として、つくも苑跡地に整備中の俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動物園移転検討を行う。

【調査検討の方向性】

- 規模を縮小し全天候型施設として管理コストを適正化しつつ、荒天時の集客を高める。
- 動物とのふれあい等、中長期的なソフト事業に応じたハード整備とすることで、持続可能な集客増加を図る。

※新たな用地取得が不要である俵ヶ浦半島公園（仮称）への移転を前提に検討。

【並行した検討】

- 俵ヶ浦半島へのアクセス性の向上
- 渋滞緩和対策 等

【地元との連携】

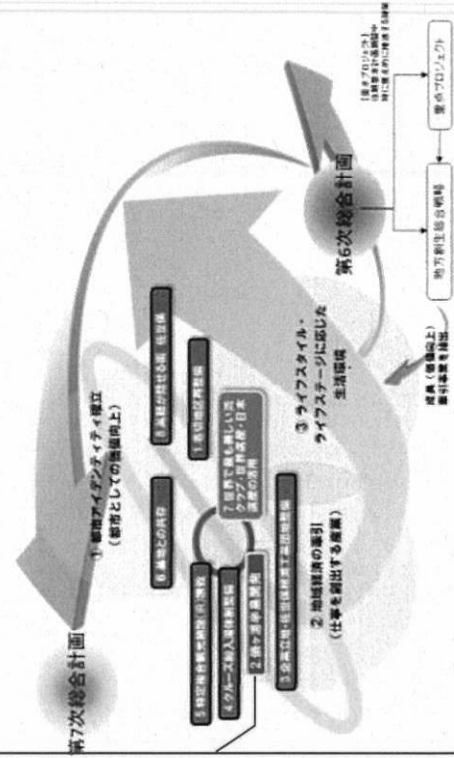
- 地元理解
- チーム様との連携 等

【半島内資源活用】

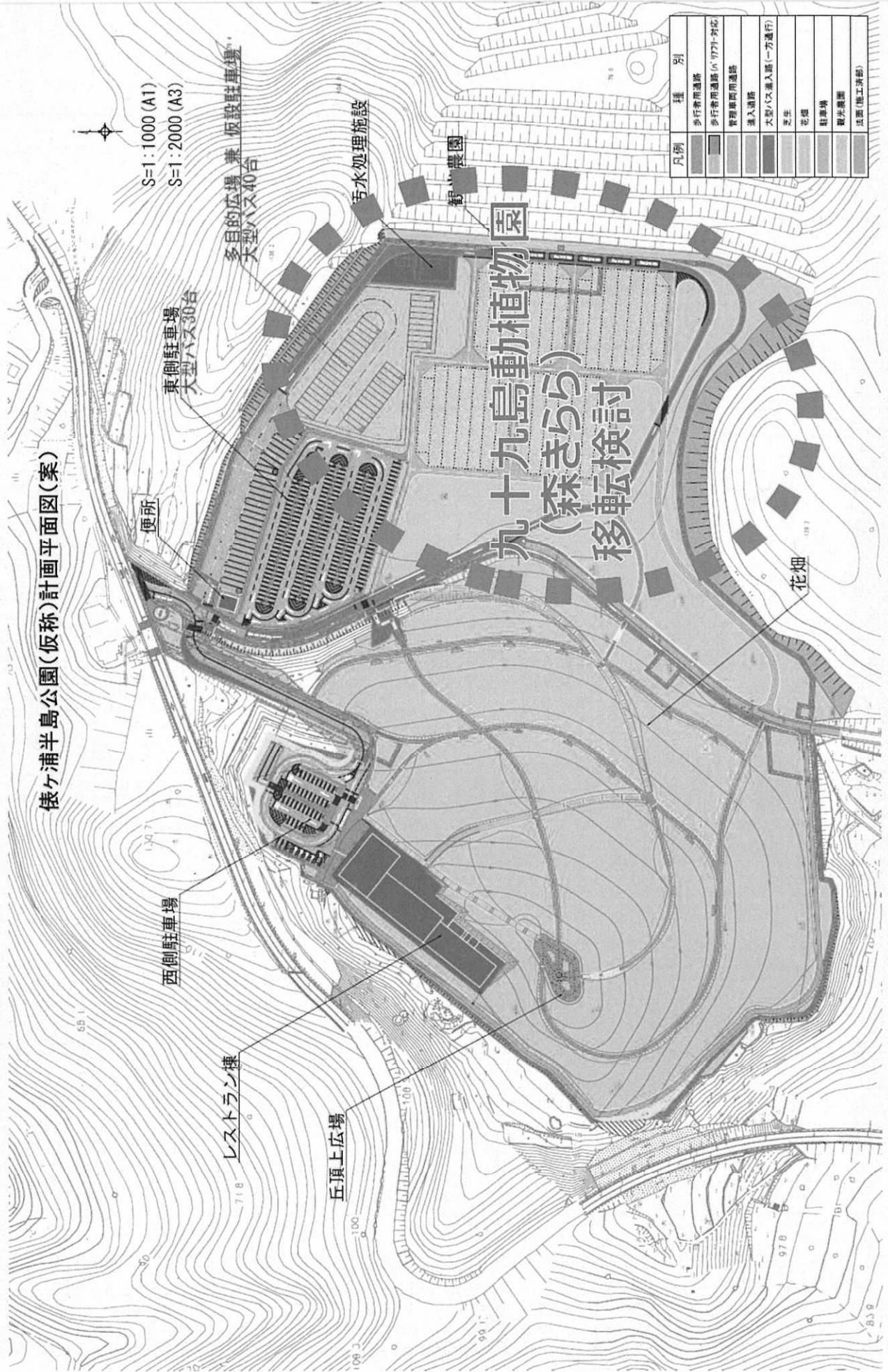
- 花の森公園、白浜海水浴場、廃校などの資源活用検討

【期待される効果】

- 雨天時の団体客のキャンセルリスクを減らし、更に安心した選択肢となることから団体の受入を伸ばすことが可能。
- 夏休み時期（猛暑時期）の入園を伸ばすことが可能。
- 計画的なソフト事業展開によって、長期に渡って観光客を維持することが可能。
- 俵ヶ浦半島開発全体の観光ビジョンを描くことができ、持続可能な地域づくりに繋がる

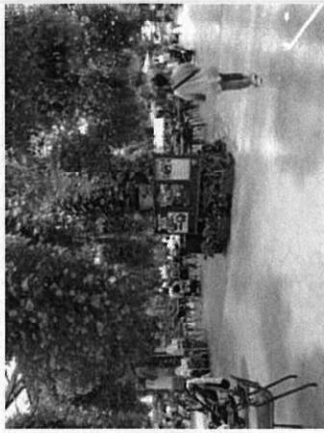


4. 九十九島動植物園（森きらら）移転検討位置



俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動植物園移転について

5. 移転後の動植物園のイメージ（神戸どうぶつ王国の事例）



6. 九十九島動物植物園（森きらら）の移転検討内容

➢ リーディングプロジェクトである俵ヶ浦半島開発及び九十九島認知度向上を推進する取組として、俵ヶ浦半島公園への九十九島動物植物園（森きらら）の移転の可否を判断する為の調査

【検討の方向性】

- ✓ 規模を縮小し、全天候型施設を導入することで、管理コストを適正化しつつ、荒天時の集客を高め、経営改善を図る。
- ✓ 「動物の能力をリアルに感じる場所」として、ソフト事業に応じたハード整備を行う。
- ※ 俵ヶ浦半島公園（仮称）は県有地であり新たな用地取得費を要さない。
- ※ 移転整備であれば、動物を一時移転させることなく全天候型施設を整備することができる。

(1) ソフト事業に係る計画

- 展示動物計画
- ショープログラム
- 人材育成計画
- 動物移転費用算定

(2) 施設建設基本構想

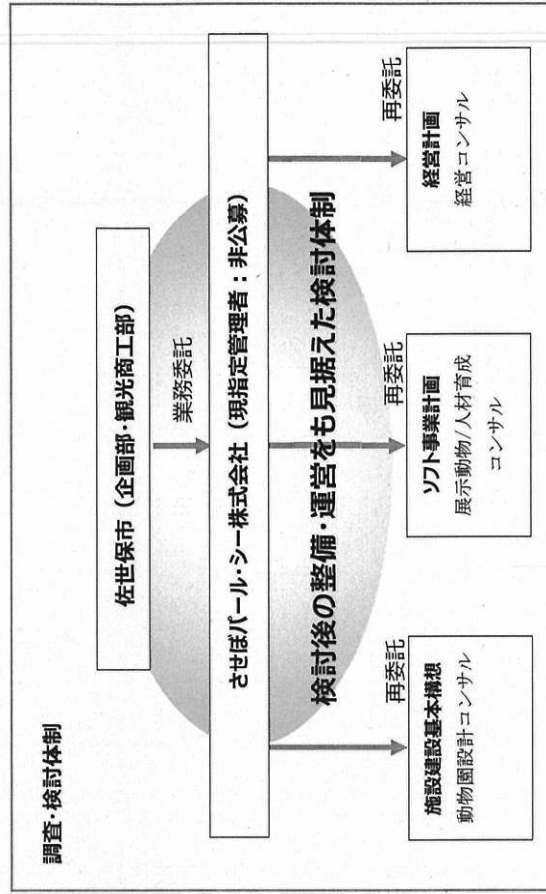
- 敷地分析
- 基本構想図作成
- 概算費用の算出

(3) 経営計画（経営分析）

- 現状・マーケット分析
- 事業計画策定

- 事業期間（25年間）のソフト事業計画及びランニングコストの算定
- ソフト事業に応じたハード計画及びイニシャルコストの算定
- 移転後の集客見込み、適正入場料の設定
- ソフト事業計画実現のための運営計画、運営者の経営コストの算定
- 長期の事業収支予測及びイニシャルコストの回収計画 など

移転可否の判断



俵ヶ浦半島公園（仮称）への九十九島動植物園移転検討について

7. 俵ヶ浦半島公園（整備）スケジュールと動植物園移転検討との関係

▼ R2年度中供用開始

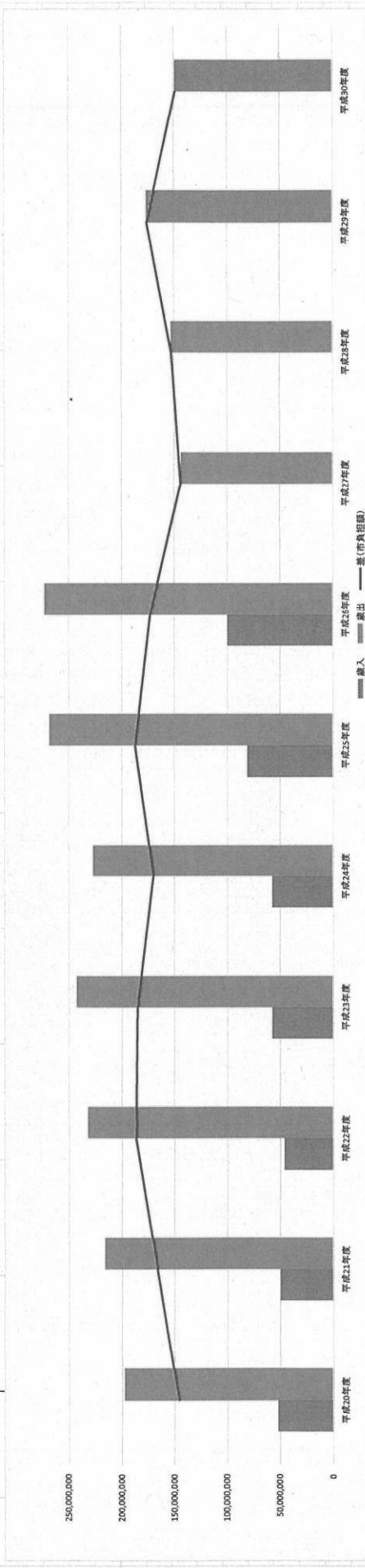
項目	H29年度			H30年度			R1年度			R2年度			R3年度以降		
造成設計															
造成工事															
公園設計（園路・駐車場等）															
芝生・園路…西側 駐車場…西側															
花畑…西側															
駐車場、トイレ…東側															
民間事業者ヒアリングなど															
官民連携検討															
動植物園移転検討															
レストラン棟など整備工事															
レストラン棟など供用開始															
動植物園を 移転する場合	動植物園 設計等														
	動植物園 整備工事等														
	動植物園 供用開始														
従来 計画	農園 整備工事														
	農園 供用開始														
港湾施設整備															

※動植物園を移転する場合のスケジュールは、あくまで現時点で想定される最短期間であり、今年度の検討において具体的なスケジュールを検討する。

【参考】九十九島動物植物園の運営費等の推移

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	合計
歳入	51,375,428	49,450,028	45,528,291	56,488,390	56,546,159	80,204,241	99,409,731	—	—	—	—	439,002,268
歳出	197,529,443	215,717,361	232,356,145	242,223,201	226,875,537	288,248,377	272,489,314	143,387,192	152,649,351	176,233,082	149,103,161	2,276,821,164
差（市負担額）	146,153,015	166,267,333	186,827,854	185,734,811	170,329,378	188,044,136	173,089,583	143,387,192	152,649,351	176,233,082	149,103,161	1,837,818,896

※活性化事業に伴う経費は除く



【歳入（内訳）】	指定管理一											合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
入園者数(人)	194,124	187,840	165,881	208,756	205,168	232,402	218,336	207,398	201,944	209,023	192,438	2,223,410
入園料	42,382,640	41,803,570	36,291,280	42,159,800	40,657,920	59,478,200	83,305,220	84,080,750	77,315,190	80,648,170	75,452,350	663,575,070
年間入込ポト	2,809,750	2,139,750	2,346,750	2,677,500	2,815,750	6,857,500	3,832,080	3,588,290	3,592,275	3,154,990	3,198,405	36,683,040
遊具使用料	2,963,100	1,410,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,373,650
雑入	1,519,938	2,096,158	4,890,281	9,651,090	11,072,489	11,868,541	10,272,431	11,076,884	10,267,362	9,408,460	9,452,731	105,576,365
委託金(系統鳥獣保護事業)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	20,000,000
合計	51,375,428	49,450,028	45,528,291	56,488,390	56,546,159	80,204,241	99,409,731	98,725,924	91,174,827	93,211,020	88,103,486	810,218,125

【歳出（内訳）】	指定管理一											合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
管理運営費※H2以降は指定管理料	190,590,098	203,457,007	220,003,316	238,280,411	219,755,802	236,346,876	216,596,202	139,614,000	136,492,000	135,754,000	136,039,460	2,070,931,172
施設整備費	6,938,345	12,260,354	12,352,829	5,842,790	7,119,735	31,901,501	55,901,112	3,773,192	16,157,351	40,479,082	13,063,701	205,889,992
合計	197,528,443	215,717,361	232,356,145	242,223,201	226,875,537	268,248,377	272,489,314	143,387,192	152,649,351	176,233,082	149,103,161	2,276,821,164

【活性化事業に伴う経費（歳入）】	指定管理一											合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
産財地基金	2,826,000	40,197,000	0	104,010,000	0	0	0	0	0	0	0	147,033,000
キラッ都立市民協賛寄付金	375,501	130,000	1,024,000	40,000	399,000	150,000	261,000	0	0	0	0	2,379,501
借入額	9,800,000	122,300,000	221,300,000	53,500,000	206,400,000	361,000,000	361,000,000	0	0	0	0	976,300,000
合併特例債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	663,166,065
未償還額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	296,133,935
ふるさと創生基金輸入金	0	0	0	0	0	389,000	0	0	0	0	0	389,000
合計	13,001,501	162,627,000	222,324,000	162,550,000	206,799,000	361,150,000	261,000	0	0	0	0	1,128,172,501

※合併特例債の最終償還日は令和7年3月20日

【活性化事業に伴う経費（歳出）】	基本設計および一般実施設計											合計
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
人件費	350,000	166,000	150,916	288,914	65,559	4,699,320	0	0	0	0	0	5,720,709
物件費	39,994,005	183,459,263	298,743,680	90,060,060	217,941,219	379,637,318	0	0	0	0	0	1,209,235,605
合計	40,344,005	183,625,263	298,894,596	90,348,974	217,406,778	384,336,638	0	0	0	0	0	1,214,966,314

俵ヶ浦半島公園

施設	原単位	使用規模	一日使用水量
飲食店	205.0 ℓ / m ²	150 m ²	30,750 ℓ
物販	21.8 ℓ / m ²	100 m ²	2,180 ℓ
トイレ等	4.48 ℓ / 千人	1千人	4 ℓ
計			32,934 ℓ
			33 m ³

※回答を基に施設能力を水道局で算定

佐世保重工業株式会社
代表取締役社長 名村建介 様

佐世保市水道事業及び下水道事業
管理者 谷本 森



水需要の将来見通しにかかる調査について (依頼)

晩秋の候、貴社におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。また、昨年度も、水事情が激しい折には節水対策にご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

水道は、あらゆる都市活動を支える基礎的社会基盤であります。本市では、従前から慢性的に水源が不足しており、度々、給水制限や節水対策等の渇水対策を余儀なくされていることから、水道の安定供給確保を市政の最重要課題とし、石木ダム建設をはじめとする諸事業を進めているところです。

これらの事業は、将来の水の需給状況について見通しを立てたうえで、事故・災害等の非常時や水道使用のピークが重なったときにも確実に供給することを前提とした水需給計画に基づいて行っております。

この水需給計画は、適宜、社会経済情勢等の変化に適合させる必要があり、今年度、計画の見直し作業を行うことを検討しております。見直しにあたりましては、将来の需給に過不足を生まないように、主要な水道需要者に対しまして水道使用の見通しに関するご意向を確認させていただいております。

つきましては、本市では現在のところ、貴社の使用水量について下記の形で計画に反映させることを考えておりますが、貴社の実態や今後の見通しに適合しているか等について、ご教示くださいますようお願いいたします。

なお、業務ご多忙の中、誠に勝手ではございますが、令和元年11月26日にご回答くださいますようお願い申し上げます。

記

・修繕船事業中心に経営方針を変更されたことに鑑み、平成27年度以降の水道使用実績の平均値 729 m³/日を令和20年度の一日平均使用水量として考えています。(平成30年度実績：724 m³/日)

※一日平均使用水量は、年間の使用水量を365日で除した数字です。

・直近3ヶ年の日々の水使用実績に基づき、令和20年度の一日最大使用水量を5,996 m³/日と推計しています。(平成30年度実績 6,056 m³/日)

※一日最大使用水量は、修繕船作業等によって生じる水道使用のピーク時の数字で、水道施設整備計画の基礎となる数字です。

ご不明な点等ございましたら、下記担当までお問い合わせください。

以上

佐世保市水道局 水源対策・企画課
担当 森、案浦
TEL0956-24-1151 (内線 3519)

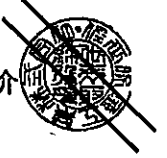
令和元年 12 月 27 日

佐世保市水道事業及び下水道事業

管理者 谷本 薫治 様

佐世保重工業株式会社

代表取締役社長 名村 建介



水需要の将来見通しについて (回答)

貴職におかれましては時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、弊社の経営方針にご理解とご協力を賜り、真にありがとうございました。

今回、将来の見通し及び現在の水使用状況につきまして、以下のとおり回答させていただきますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

1. 弊社を取り巻く事業環境について

現在、弊社が取り組む三事業（新造船事業、艦艇・修繕船事業、機械事業）を取り巻く事業環境について説明します。まず、弊社の顧客にあたる海運業界の市況は、その景気指標となる海上運賃が上昇し、確実に回復してきています。従来の新造船市況は海上運賃が上昇すれば、それが船主殿の新造船建造意欲、船価の上昇につながっていましたが、残念ながら船価は低位のまま推移しています。

もとより造船業界は国際的な競争が激しくなっており、価格競争のみならず、環境問題や安全面において、度重なる IMO（国際海事機関）のルール改正に対応すべく、設計・開発力の強化、調達力の強化が必要となっています。その一環として、平成 26 年 10 月 1 日に株式会社 名村造船所と経営統合を行い、同社の完全子会社化により名村造船所グループの一員となり、グループ各社のノウハウやスケールメリットを活かした競争力の強化等を進めております。また、当社グループのみならず、同業他社においても、同様の対応がなされていることは、報道等によりご承知のことと存じます。

2. 弊社の中期事業計画について

2020 年度は弊社の新中期事業計画（3 ヶ年）の最初の年度となり、現在策定を進めているところですが、基本的な姿勢については以下の通りとなります。

(1) 新造船事業

新造船事業は、前述の通り厳しい事業環境にありますが、為替の円高傾向も相まって、船価の回復は数年先まで期待できないことを前提に事業計画を策定する必要があります。現在、約 2 年先までの工事量が受注済となっていますが、すべての受注船で厳しい船価となっています。

このような環境の中で、弊社はコストダウンを推進するとともに、船価に見合った適正な操業量を追求する所存です。結果的に船価の回復がなければ、中期的な建造量は現在よりも減少する傾向になると思われま

佐世保市水道局

令和元年 12 月 27 日

佐水源企第 106 号

(2) 艦艇・修繕船事業

艦船・修繕船事業においては、海上自衛隊艦船の修理、検査業務を事業の中心としています。これは完全な内需事業であり、国際的競争にはさらされないという利点がありますが、一方で工事量が多く工事期間も長くなる定期検査と、それほど工事量が多いとはいえない年次検査、中間修理があり、各年度により定期検査が重なる年度と一隻もない年度、いわゆる山谷の激しい事業となります。

その谷間を埋めるべく、客船「飛鳥Ⅱ」や地球深部探査船「ちきゅう」、一般商船修繕船の受注に力を入れています。今後もその方針に変更はなく、さらに受注拡大を目指すことになるものと考えます。

(3) 機械事業

機械事業の主力製品は舶用ディーゼルエンジン用のクランク軸、プロペラ軸等となるため、基本的に国内の新造船市況に連動することになります。国内造船所の操業度は総じて低位で横ばいの状況ですが、国内での製造メーカーが2社に減少したこともあり、直近では操業度が上昇し、利益も確保しています。

3. 水需要の将来見通しについて

機械事業についても水の使用はありますが、量的に少ないため、新造船事業、艦艇・修繕船事業における水需要の見通しについて述べさせていただきます。

新造船事業では今年の8月までの約3年間、中型タンカーの9隻連続建造を行ってきました。タンカーは後方にメインエンジンや居住区が配置されているため、空荷のコンディションでは重心が後方に掛かり、進水を行う際に船底が渠底に当たらないように、カウンターウェイトとして水道水を前方のタンク内に貯めることがあります。但し水道水を使用するか、海水を使うかについては工事の進捗度や船主監督の意向が大きく、必ず水道水を使うということではありません。過去の実績では1回の進水作業に要する水量は約2,000～6,500トンとなっています。

艦艇・修繕船事業では、修繕船がドックに入渠した場合、船体洗浄の作業は必須であり、水量は船のサイズや状況、船種による違いはありますが、大量の清らかな真水を使用する必要があります。また、近年の客船や探査船といった船では、修理期間も船内で生活する乗組員や研究者がいるため生活用水を供給する必要がありますが、今年1月に工事を施工した飛鳥Ⅱにおいては500人近くが乗船していました。一般商船では機器の冷却水として水道水を使用しています。

よって、弊社の今後の水需要の将来見通しについては、少なくとも過去数年の使用実績及び佐世保市にて推定して頂いている平均日量729 m³/日、一日最大使用量5,996 m³/日を最低限確保する計画を行って頂きたいと存じます。

なお、弊社としましては平成6年の大濁水時には削井を行い、佐世保市の中水の利用を検討した経緯もございますが、いずれも水質の面で断念しました。弊社事業の継続に水道水は不可欠となっております。

以上のことから、今後の弊社の経営戦略等を考慮しますと、前述の最低限確保していただきたい水量や、今後の見通しについては、引き続きご理解、ご協力いただきたいと思います。

以 上